

2026 年度 スポーツ能力に優れた者の特別選抜入学試験(デザイン・アート学部) 「デザイン・アート学部」

1. 実施状況

志願者数、合格者数等

【スポーツ】

学科	志願者数	1次合格者数	最終合格者数
デザイン・アート学科	7	7	7

2. 試験内容

デザイン・アート学部のコンセプトやアドミッション・ポリシー、カリキュラムの特長についての理解度、また学業と課外活動の両立についての考えや計画について、確認しました。

3. 出題意図

デザイン・アート学部のアドミッション・ポリシーやカリキュラムに対する理解度、受験生自身の知識・技能や経験を活かした学習計画、学業と課外活動の両立についての考えなどを確認することです。

4. 評価のポイント

学部のコンセプトやカリキュラムの内容について理解しているかを確認しました。質疑をとおして、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ姿勢や意欲について確認するとともに、学業と課外活動の両立の計画、高校で得た知識や技能を学部の学びにどのように接続し、自身の成長につなげていくかについて説明を求め、評価を行いました。

5. 解答状況

受験生は、学部のコンセプトやカリキュラムの内容を理解し、スポーツ活動における実績や経験をふまえ、学部での学びを自身の将来の目標達成にどのように結び付けていくのかについて、具体的に説明することができていました。また、学業と課外活動の両立について十分な意欲を有していることも確認できました。

6. 次年度以降の受験生へのアドバイス

デザイン・アート学部のコンセプトやアドミッション・ポリシー、カリキュラムについての理解度を十分に深めておくことが重要です。そして、自身の経験を振り返り、本学部での学びを自己の成長にどのように活かすかを考え、現在の関心と将来の目標を明確にするよう努めてください。それらをもとに本学部で学びたいことを設定し、具体的な学修計画を立ててください。また、学業と課外自主活動の両立についても、具体的な取り組みを考えておくことが望まれます。

7. 進路指導上の留意点（主に高校教員向けの入試指導上のポイント）

デザイン・アート学部では、「クリエイティブ・トランスフォーメーション（CX）」と呼ぶ、美的感性に根差す共創を通じた、ダイナミックな自己変容の学びを追求します。論理的に問題を整理し解決へと導く力と、自身の感性で意味を問い直し形にする力を兼ね備えるため、実際の都市や地域を舞台にしたプロジェクトを核とする実践的な学びを重視します。こうした学びを通じ、新たな視点から物事を捉え直し、新しい価値観や発想を生み出し、よりよい未来の生活や文化の創造に貢献できる人材の育成を目指します。

本学部のこのような学びの特性について、受験生が十分に理解できるよう、オープンキャンパス等のイベントへの積極的な参加を促してください。また、受験生が将来の目標を見据えながら、自身の得意分野や長所を学部での学びを通じてどのように伸ばしていくのかについて、考えを深めることができるようご指導をお願いいたします。

以上